

2016年リオオリンピック競技大会の参加枠決定について

1. IWFによる参加枠決定方法

① 最大参加者数

男子：156名 (世界選手権大会で108名、大陸大会で31名、開催国3名)
 (個人出場権8名+招待枠6名)
 女子：104名 (世界選手権大会で67名、大陸大会で24名、開催国2名)
 (個人出場権7名+招待枠4名)
 合計：260名

② 上記①の世界選手権大会で参加枠決定は2014年と2015年の世界選手権大会を世界選手権大会での選考対象とし、各国の出場選手男子上位6名、女子上位4名の得点をそれぞれ加算し、その合計得点により国別順位を確定し、下表のとおり国別参加人数を決定する。

「男子」

合計得点での順位	国別参加人数	合計人数
1～6	6名	6×6=36
7～12	5名	5×6=30
12～18	4名	4×6=24
19～24	3名	3×6=18
24カ国		108名

「女子」

合計得点での順位	国別参加人数	合計人数
1～9	4名	4×9=36
10～16	3名	3×7=21
17～21	2名	2×5=10
21カ国		67名

③ 上記②で、参加資格を得ることができなかった国は、大陸大会にて上記②で参加資格を得た国を除く国別対抗により順位を確定し、下表のとおり国別参加人数を決定する。

「男子」

大陸名	順位と人数	計
アフリカ	1位～5位：1名	5名
アジア	1位～7位：1名	7名
ヨーロッパ	1位～7位：1名	7名
アメリカ	1位～7位：1名	7名
オセアニア	1位～5位：1名	5名
合計		31名

「女子」

大陸名	順位と人数	計
アフリカ	1位～4位：1名	4名
アジア	1位～6位：1名	6名
ヨーロッパ	1位～6位：1名	6名
アメリカ	1位～4位：1名	4名
オセアニア	1位～4位：1名	4名
合計		24名

2. 個人参加資格について

・IWFが指定した以下の大会に2つ以上参加しているものの中から2016年リオオリンピック競技大会に参加資格が与えられる。

- ・2014年 世界選手権大会、アジア競技大会、IWFグランプリ、コモンウェルス大会
- ・2015年 世界ジュニア選手権大会、世界選手権大会、IWFグランプリ
- ・2016年 アジア選手権大会(大陸予選)、IWFグランプリ

2016年リオオリンピック競技大会日本代表選手の選考について

1 世界選手権大会で出場選手枠を獲得した場合の選手選考方法

- ① 2014年・2015年の世界選手権大会の総合団体順位で、男子は3名以上、女子は2名以上の出場選手枠を獲得した場合は、内定選手を選考する。
- ② 上記①で決定した内定選手以外の選手及び内定選手がいなかった場合は、2015年世界選手権大会、2016年全日本選手権大会を選考対象大会とし、オリンピック大会出場予想ランキングに当てはめ選手を選考する。

「男子」

世界選手権大会 での出場枠獲得数	内 定 選 手 の 選 考	
	最大内定数	選 考 基 準
6人	2人	・ 2015年世界選手権大会で8位以内入賞者のうち、上位2名を代表選手に内定する。なお、3名以上が同位の場合、2014年世界選手権大会と2015年世界選手権大会の獲得ポイント※1の和の多い選手を選考する。それでも同じ場合は3位に近い記録を優先する。 (8位以内入賞がない場合は獲得ポイント※1での内定選手の選考はしない)
5人		
4人	1人	・ 2015年世界選手権大会で8位以内入賞者のうち、上位1名を代表選手に内定する。なお、2名以上が同位の場合、2014年世界選手権大会と2015年世界選手権大会の獲得ポイント※1の和の多い選手を選考する。それでも同じ場合は3位に近い記録を優先する。 (8位以内入賞がない場合は獲得ポイント※1での内定選手の選考はしない)
3人		

「女子」

世界選手権大会 での出場枠獲得数	内 定 選 手 の 選 考	
	最大内定数	選 考 基 準
4人	1人	・ 2015年世界選手権大会で8位以内入賞者のうち、上位1名を代表選手に内定する。なお、2名以上が同位の場合、2014年世界選手権大会と2015年世界選手権大会の獲得ポイント※1の和の多い選手を選考する。それでも同じ場合は3位に近い記録を優先する。 (8位以内入賞がない場合は獲得ポイント※1での内定選手の選考はしない)
3人		
2人	1人	・ 2015年世界選手権大会で3位以内入賞者のうち、上位1名を代表選手に内定する。なお、2名以上が同位の場合、2014年世界選手権大会と2015年世界選手権大会の獲得ポイント※1の和の多い選手を選考する。 (3位以内入賞がない場合は獲得ポイント※1での内定選手の選考はしない)

※1 獲得ポイントとはIWF得点方式である、1位28点、2位25点、3位23点、4位22点、5位21点・・・24位2点、25位1点の付け方である。

2. 2016アジア選手権大会でしか参加枠を獲得できなかった場合(1名枠)の選手選考方法

2015年世界選手権大会、2016年アジア選手権大会、2016年全日本選手権大会を選考対象大会とし、リオオリンピック大会出場予想ランキングに当てはめ選手選考をする。

※アジア選手権大会の選手選考については、アジア選手権大会で高得点を獲得できる選手を選考する。選手選考は2014年と2015年の世界選手権大会でリオオリンピック大会参加獲得国を除くアジアランキング表(2016.02.10現在)を作成し、上位の選手より選考する。

※世界選手権大会で参加枠を獲得した場合はリオオリンピック大会個人参加資格1回の選手を優先して選考する。なお、選手選考の資料は世界基準を考え2015年世界ランキング表とする。また、アジア選手権大会での記録は対象としない。

3. 内定選手の取り扱い

世界選手権大会で内定した選手は、2016年全日本選手権大会に参加して体調を確認する。怪我等で参加できない場合は別途審議する。

4. 2016リオオリンピック大会選手選考ランキング作成について

リオオリンピック大会選手選考資料であるリオオリンピック大会出場予想選手ランキング表(選手選考ランキング表)の作成内容等については、2016年2月27日の選手強化委員会で審議する。

5. 2016リオオリンピック大会選手選考ランキング表の公表について

2016年全日本選手権大会前までに公表する。

6. その他

IWFの選考基準が変更された場合は別途審議する。

2016リオオリンピック競技大会日本代表選手選考方法について

2016.04.03 選手強化委員会

- 1 選考対象の記録について
・次の大会の記録を選考対象記録とする。

男子（アジア選手権大会で参加枠を獲得の場合） ① 2015年世界選手権大会 ② 2016年アジア選手権大会 ③ 2016年全日本選手権大会 ※ 同記録の場合の優先順位①> ②> ③	女子 ① 2015年世界選手権大会 ② 2016年全日本選手権大会 ※ 同記録の場合の優先順位 ①> ②
世界選手権大会で参加枠を獲得の場合は女子と同様とする。	最終選考を全日本選手権大会にすることにより、公平性が高まる。

- 2 選考資料作成（リオオリンピック競技大会出場予測ランキング表）

- ① 2014・2015・2016年のリオオリンピック個人参加資格大会を基に、1カ国1階級最大2名のランキング表（Ⅰ）を作成する。
（ヨーロッパ地区、アジア地区は4月末日までに終了）

資料作成の条件

- オリンピック個人参加資格の選手（指定大会2つ以上出場者）を対象とする。
○ドーピング違反によりリオオリンピック大会の出場資格のない選手は除く。

- ② 上記ランキング表（Ⅰ）から、世界選手権大会（男子24ヶ国、女子21ヶ国）とヨーロッパ選手権大会（男子7ヶ国、女子6ヶ国）及びアジア選手権大会（男子7ヶ国、女子6ヶ国）で出場枠を獲得した国並びに大陸大会から予測される次の各国の1名を残したランキング表（Ⅱ）（男子計50ヶ国、女子計44ヶ国）を作成する。

※ 枠取りできなかった国の個人枠男子8名、女子7名及び三者委員会枠男子6名、女子4名の選手は除いた資料とする。

男子

- アフリカ地区（5ヶ国であるが該当は3ヶ国）
（チュニジア、アルジェリア、リビア）
アメリカ地区（7カ国）
（アメリカ合衆国、ベネズエラ、キューバ、メキシコ、エクアドル、カナダ、チリ）
オセアニア地区（5カ国であるが該当は2ヶ国）
（フィジー、ナウル）

女子

- アフリカ地区（4ヶ国）
（ナイジェリア、モーリタニア、南アフリカ、チュニジア）
アメリカ地区（4カ国）
（カナダ、チリ、プエルトリコ、キューバ）
オセアニア地区（4カ国であるが該当は3ヶ国）
（オーストラリア、ソロモン諸島、ニュージーランド）

- ③ 上記ランキング表（Ⅱ）から、オリンピック大会出場予想選手ランキング表（選手選考ランキング表と称す）を作成する。

作成内容は次のとおりとする。

- (a) 出場枠獲得数の選手を選ぶ。
(b) ランキング表（Ⅱ）の上位者より選ぶ。
(c) (a)の選手が選考された時点で同国の他の選手を抹消する。抹消された選手より下位の選手を繰り上げて評価する。
また、出場枠最大数で同順位が異なる階級で並んだ場合は、上位選手との記録差が少ない選手を優位とする。なお、それでも同じ場合は下位選手との記録差が大きい選手を優位とする。
(d) 枠取りできなかった国の個人枠男子8名、女子7名及び三者委員会枠男子6名、女子4名の選手は除いた資料とする。

※ ランキング表の作成は、公式記録員に依頼する。

3. 日本代表選手の選考方法について

- ・ リオオリンピック大会出場選手ランキング表（以下「選手選考ランキング表」と称す）をスケールとし、選考対象の記録を当てはめ、次の基準によりリオオリンピック日本代表選手を選考する。
 - ① 男女とも平成28年度全日本選手権大会に出場している選手の中から選考する。
（止むを得ない事情で出場できなかった場合は別途審議する）
 - ② 「選手選考ランキング表」で8位以内の場合は、上位選手より選考する。なお、8位以内で同順位が異なる階級で並んだ場合は、上位選手との記録差が少ない選手を優位とし、それでも同じ場合は下位選手との記録差が大きい選手を優位とする。
 - ③ 「選手選考ランキング表」で9位以下の場合は8位記録に近い選手を優位とする。なお、異なる階級で記録差が同記録に並んだ場合は順位の少ない選手を優位とする。